

小学校第2学年 国語科（学校図書館教育）学習指導案

期 日 平成23年9月27日（火）第5校時

場 所 宇城市立豊福小学校図書室

指導者 教諭 山口 ほう子

1 単元名

どうぶつの ひみつを みんなでさぐろう 「ビーバーの大工事」（東京書籍2年下巻）

2 単元について

(1) 単元観

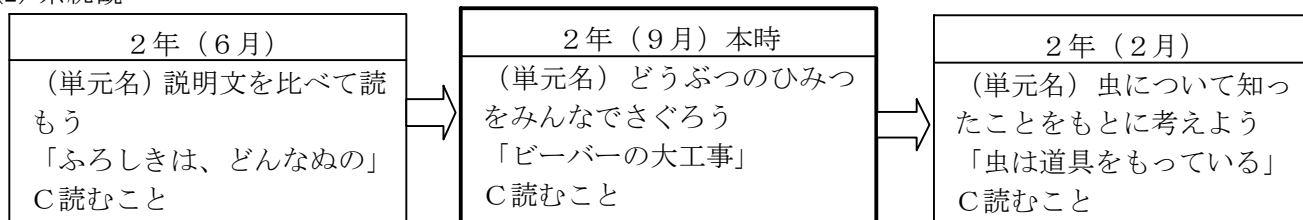
本単元は、小学校学習指導要領の目標（3）を受け、内容C読むこと（1）イ「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」およびエ「文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。」をねらいとしている。

そこで、写真や挿絵と本文を結び付けながら内容を正しく読み取った後、自分が興味を持った動物について図書やインターネットソフトを使った調べ学習を行い、キーワードを探しながら読む力を生かして、クイズの問題を作ったり答えを本から探したりする活動を設定する。

この時期の児童は、科学的な読み物に対する関心が高い。教材文を読んだり、動物について書かれた図書を読んだりすることを通して多くの情報を得、知的好奇心が満たされる喜びを感じることができよう。多くの情報を集め、その中から必要な情報を選択する力の基礎を養うことを目指し、本単元を設定した。

児童は動物が大好きで普段から図鑑を見たり、校庭で生き物を探したりして楽しんでいるが、自分が必要とする情報収集の仕方や情報の活用の仕方については十分な知識や技能が身に付いているとは言えない。本単元を通して、図書等の利活用の仕方を身に付けることは大変意義深いことである。

(2) 系統観



(3) 児童観

○本学級は、男子12人、女子17人、計29人である。

○読書の時間を週1時間設定し、学級文庫の団体本の一斉読書や、ボランティアによる読み聞かせを行っている。読み物や図鑑など、様々な種類の本に親しむことができています。

○事前意識調査の結果、図書室で困ることとして、「必要とする本の所在がわからない」と答えた児童は89.7%、「調べ学習をするときに図書室の本はあまり使わない」と答えた児童は55.2%だった。

○自分一人で、インターネットを検索して調べることができる児童は、1人である。

(4) 指導観

○図書資料の不足を補うために、公共図書館との連携を図る。

○必要な情報が得られる図書を探す方法や、有効な図書の利活用の仕方は国語だけでなく生活科の学習でも身に付けさせる。

Cプロジェクト 情報活用能力の育成の観点から

本単元で高める情報活用能力は、「題名や挿絵などを利用して必要な本を探す」「目次や索引、見出しの機能と使い方を知る」ことである。図書室で必要な資料がどこにあるか分からない児童には、十進分類法を使った分類番号を知らせ、その番号の書架から探させる。また、目次や索引、見出しの機能を知らせ、それらの有用性を感じ活用できるようにするために、図書クイズやゲーム的な要素を取り入れ、楽しみながら身に付けさせるようにする。

インターネット検索については、国語科や生活科等の時間にパソコンの基本的な操作を身に付けさせ、ひらがなで検索ワードを入力し、自分の調べたいサイトを探し出させるようにする。また、2年生の児童にも理解できるサイトを予め調べておき、紹介する。

3 単元の目標と評価規準

単元の目標	○順序に気を付けて読み、書かれている内容を正しく読み取ることができる。 ○知りたいことに関係のある大事な言葉を見付けながら読むことができる。 ○クイズを作るために、動物の生態について説明した本を選んで読むことができる。
読むことへの関心・意欲・態度	①動物の生態に興味を持ち、進んで本を読んで調べようとしている。
読む能力	①順序に気を付けて読み、書かれている内容を正しく読み取っている。 ②知りたいことに関係のある大事な言葉を見付けながら読んでいる。 ③クイズを作るために、動物の生態について説明した本を選んで読んでいる。
書く能力	①動物の秘密について、様子が分かるようにふさわしい言葉を選んで書いている。 ②書いたクイズや解答を読み合い、感想を伝え合っている。
情報の科学的な理解	①学校図書館の利用の仕方、ルールやマナーを理解することができている。 ②目次や見出し等を使って必要な情報を探す方法を理解することができている。
情報活用の実践力	①図書室の本やインターネットから必要な情報を集めている。

4 指導・評価計画（18時間取扱い） 本時 10/18

次	時	学習活動	指導上の留意点 ※Cプロジェクトの視点から	評価基準（基準B）（評価方法）
1	1	○教科書の冒頭の分を読んで学習のねらいと流れを確かめ、説明文を通読して初発の感想を発表する。	・教科書の写真などを利用して興味をもてるように導く。 ・写真や挿絵を見た感想を書くよう促したり、いちばん興味を持った部分はどこか尋ねたりする。	関心・意欲・態度① （ノート） 自分の感想をまとめることができる。
2	2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6	○大事な言葉を探しながら、順序に気を付けて説明文を読み、大工事を行うビーバーの様子を読み取る。	・主語が省略されている場合は補って考えるように示唆する。 ・絵や写真などの資料を使って補足説明する。 ・絵や写真と文を対応させたり模型を使ったりして具体的なイメージをつかませるようにする。 ・ダム作りの手順を図などに表しながら、いっしょに確かめていく。	読む① （学習シート、発表） 順序に気を付けて読み、書かれている内容を正しく読み取っている 読む② （学習シート、発表） 知りたいことに関係のある言葉を見付けながら読んでいる。
3	7	○調べる本の紹介を聞く。 ○調べたい動物や昆虫を決める。 ○本の探し方を知る。	・児童の実態を見ながら、教師が本を何冊か準備しておき、写真や挿絵を見せながら簡単なブックトークをして紹介する。 ・ビーバーについてもっと知りたいことを想起させ、ほかの動物についても同じように興味を広げさせる。 ※図書館利用のマナーやルールを確認させる。学校図書館に引率し、動物や昆虫に関する本がある場所を全員に確かめさせる。	関心・意欲・態度① （発言・行動観察） 興味のある動物や昆虫を選び、その動物や昆虫について本で調べるとい活動に意欲的に取り組もうとしている。 情報の科学的な理解① （行動観察） 学校図書館利用のルールやマナーを守っている。

8 本 時 9 ・ 10	○興味を持った動物や昆虫について調べる。 ○調べて分かったことを、学習シートに書き出す。	・調べ学習に使えるような本は地域の図書館などと連携して、前時までにまとめて集めておく。 ※目次や見出しを使って調べ、メモをさせる。 ・「クイズ集」を作るために必要な項目を児童から引き出し、調べるよう助言する。 ・内容をすべて拾うのではなく、興味関心を持った情報を集めていくようにさせる。	読む③書く①(学習シート) クイズを作るために動物に関する本を読み、調べたことを書き出している。 情報の科学的な理解②(行動観察、振り返りシート) 目次や見出し等を使って必要な情報を探することができる。 情報活用の実践力①(学習シート) 本やインターネットから必要な情報を集めている。 読む③書く①(学習シート) クイズを作るために動物に関する本を読み、調べたことを書き出している。	
	11 ・ 12 ・ 13	○クイズの作り方を確認する。 ○クイズを考える。 ○クイズをシートに書く。 ○作ったクイズを見直す。	・教科書の例をみて、問題の内容や出題の仕方について確認させる。教師が出題の文型を示す。 ・集めた情報をもとに問題やヒントを考えさせる。問題は必ず、本を読めばわかるものに限定する。 ・問題とヒントを見比べ、誤字や脱字、内容的に不整合な点などがないか確認させる。	書く①(学習シート) 集めた情報をもとにクイズの問題と答えを考えて、分かりやすく書いている。
14 ・ 15 ・ 16 ・ 17	○「どうぶつのひみつクイズ」大会を開く。 ○クイズをした感想を発表する。	・教科書の解答用紙例を見て、本の中から答えを探して用紙に書くということを確認させる。 ・教材文を読み取ったときに付けた力を生かし、どこに何が書いてあるかを考えながら答えを探すようにさせる。 ・解答を書くほかに、初めて知ったことやもっと知りたいこと、出題について賛辞などもメモさせる。	読む②(解答用紙、学習シート) クイズの正解が書かれている本を探し、どこに何が書いてあるかを考えて、答えの部分の正しく読みとっている。 書く②(行動観察) 書いたクイズや解答を読み合い、感想を伝え合っている。	
4	18	○クイズの修正をする。 ○「クイズ集」を作る。 ○学習を振り返る。	・感想や助言をもとに修正させる。 ・「クイズ集」を作成させ、常時見ることができるようにする。友達のクイズを読んでさらに詳しく知りたいと思ったことは自分で調べさせるようにする。	関心・意欲・態度①(発言・行動観察) 「クイズ集」づくりに意欲的に取り組み、自分が身に付けた力を認識してこれからの学習に生かそうとしている。

5 本時の学習

(1) 目標 動物について書いてある本を探し出し、興味を持った動物について調べメモに書くことができる。

(2) 評価基準

(基準B) 読む能力③ 書く能力① 動物に関する本を読み、調べたことを書き出している。
情報の科学的な理解② 目次や見出し等を使って必要な情報を探している。
情報活用の実践力① 本やインターネットから必要な情報を集めている。

(基準A) 読む能力③ 書く能力① 動物に関する本を読み、情報を5つ以上集め書き出している。
情報の科学的な理解② 目次や見出し等を使って必要な情報を素早く探している。
情報活用の実践力① 複数の本やインターネットから必要な情報を集めている。

(3) 展開

過程	学習活動【学習形態】	主な発問・指示等	教師の指導及び評価 ※Cプロジェクトの視点	備考
導入 2分	1 本時のめあてを確認する。			
	どうぶつのひみつをさがって、わかったことを書こう。			
展開 40分 (10)	2 調べ方、調べる項目、メモの取り方を確認する。【一斉】 <u>調べる項目</u> ①住んでいる場所 ②体の特徴 ③初めて知ったこと ④おどろいたこと ※ どの本のどこに書いてあったか	○興味を持った動物について調べて、分かったことをメモしましょう。 ○調べたい動物が決まったら、目次や見出しを使って調べてメモしましょう。クイズを作るために、おもしろそうなことを探して書き出しましょう。 ○後で確認できるよう、どの本のどこに書いてあったか、本の名前とページをメモしておきましょう。	○児童が意欲を持って調べることができるよう、めあてを提示する。 ※調べ学習がスムーズを進められるように、目次や見出しの使い方、メモを取る項目を確認させる。 ※書名とページをメモしておくよう伝える。	図書 学習シートを 拡大したもの 学習シート
(30)	3 調べて分かったことを学習シートに書き出す。【個人】	○調べたい動物について書いてある本が見つからないときは、先生に相談しましょう。 ○書いてあることで分からないことがあったら友だちや先生に聞きましょう。 ○書いてあることをぜんぶ書き出すのではなく、必要なところだけ書きましょう。 ○一つの動物が終わったら二つ目を調べましょう。	○児童の興味・関心に応えられるように図書を充実させておく。 ※図書にない動物は、インターネット(「ひらがなどうぶつえん」)で調べるようにする。 ○興味・関心を持ったことを選んで読むよう促す。 【評価：読む能力③書く能力①(学習シート)】 〈B基準に達しない児童への手立て〉 探したい動物について書かれた本を手渡す。	
整理 3分	4 本時の学習を振り返る。【一斉】	○動物について調べて書くことができましたか。	【評価：情報の科学的な理解②(振り返りカード)】 【評価：情報活用の実践力①(学習シート、振り返りカード)】	振り返りカード

